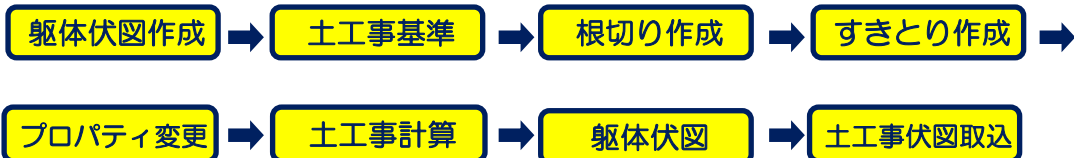


土工事 伏図作成～取込の流れ

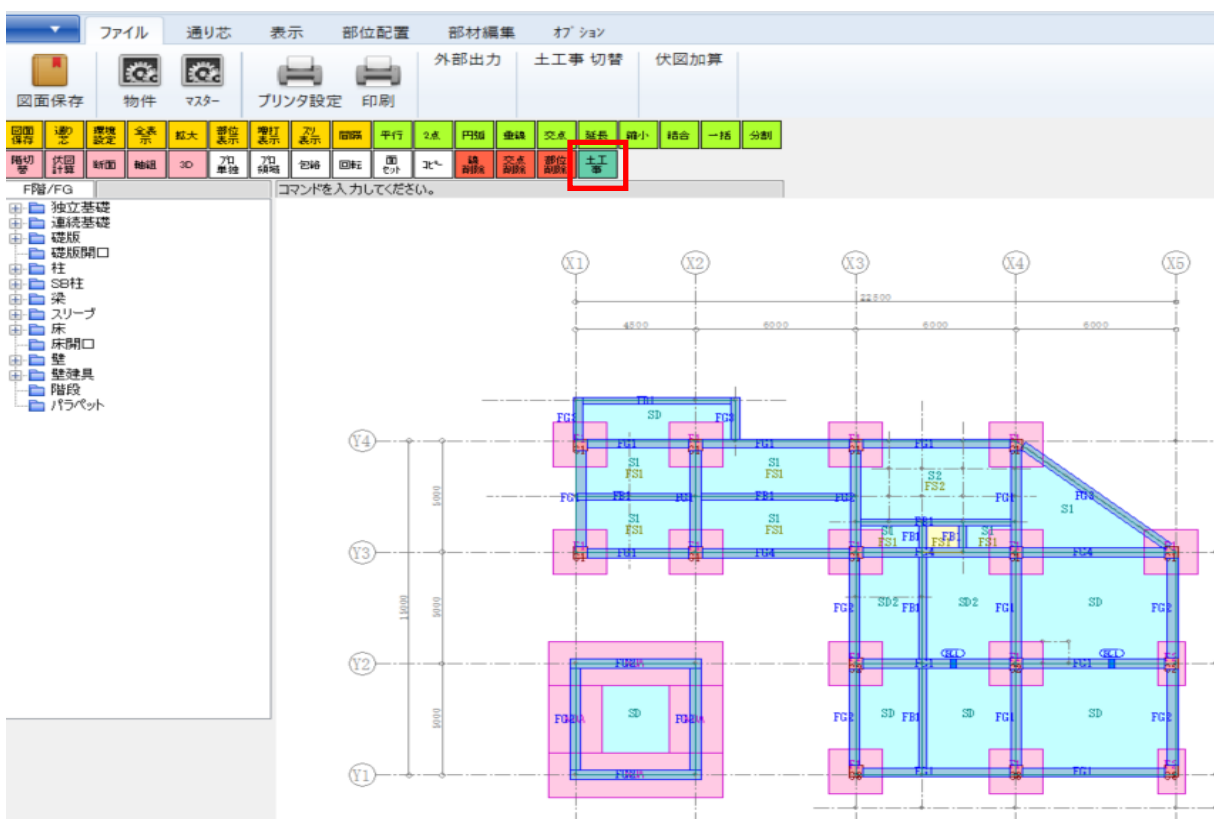
躯体伏図より根切り図を自動作成し、根切り・捨コンなどの土工事、地業工事の数量を算出して、汎用拾い画面に数量計算式を展開します。

基本的な操作の流れは下記になります。



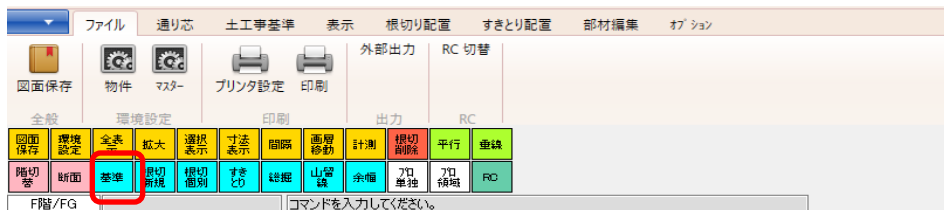
1. 躯体伏図作成

土工事の根切り図を作成するにあたり、伏図操作により躯体図を作成します。躯体伏図画面で部位配置し、土工事ボタンにて土工事画面に切り替えます。



2. 土工事基準

基準ボタンをクリックします。



GL基準線のSL差を入力します。
ラップルがある場合は、基礎記号ごとに高さを入力します。

土工事基準(物件) ×

<> GL基準線 → SL差
GLがSLより低い場合はマイナス値

(2) 根切りの余幅

根切りの深さ(H)	ゆとり幅	係数(α)
H < 1.5 m	0.5	0.0
1.5 m ≤ H < 5.0 m	0.5	0.3
5.0 m ≤ H	0.5	0.6

余幅計算
 $(\text{根切りの深さ} \times \text{係数}) / 2 + \text{ゆとり幅}$
 単位 mm cm

(3) 地業設定 単位mm

	独立基礎	連続基礎	基礎大梁	基礎小梁	礎版	土間
拾コンクリート厚	60	60	60	60	60	0
砂利地業厚	60	60	60	60	60	150
出幅	100	100	100	100	100	100
仕上厚	0	0	0	0	0	0
杭径	0	0	0	0	0	0
杭本数	0	0	0	0	0	0

ラップルコンクリート設定

基礎記号	高さmm
F1	0
F2	900
F3B	0
F4C	0
F5D	0
NOA	0
NOB	0

出幅 mm
 掘削余幅 mm

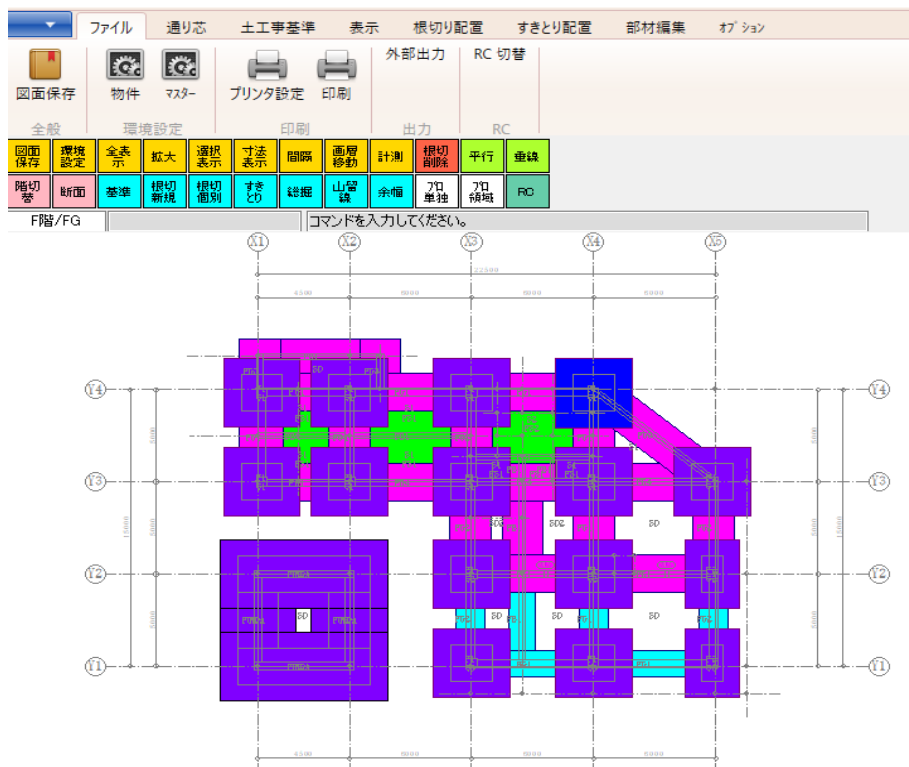
OK キャンセル

3. 根切り作成

土工事基準の内容で現在の躯体図より根切り図を作成します。
根切新規ボタンをクリックします。

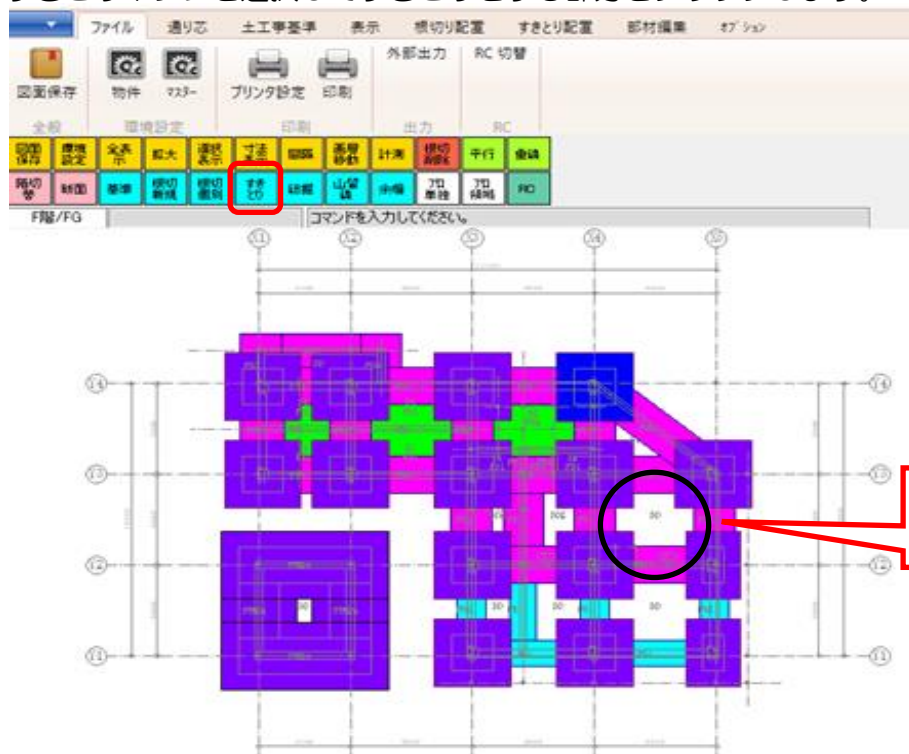


根切り図

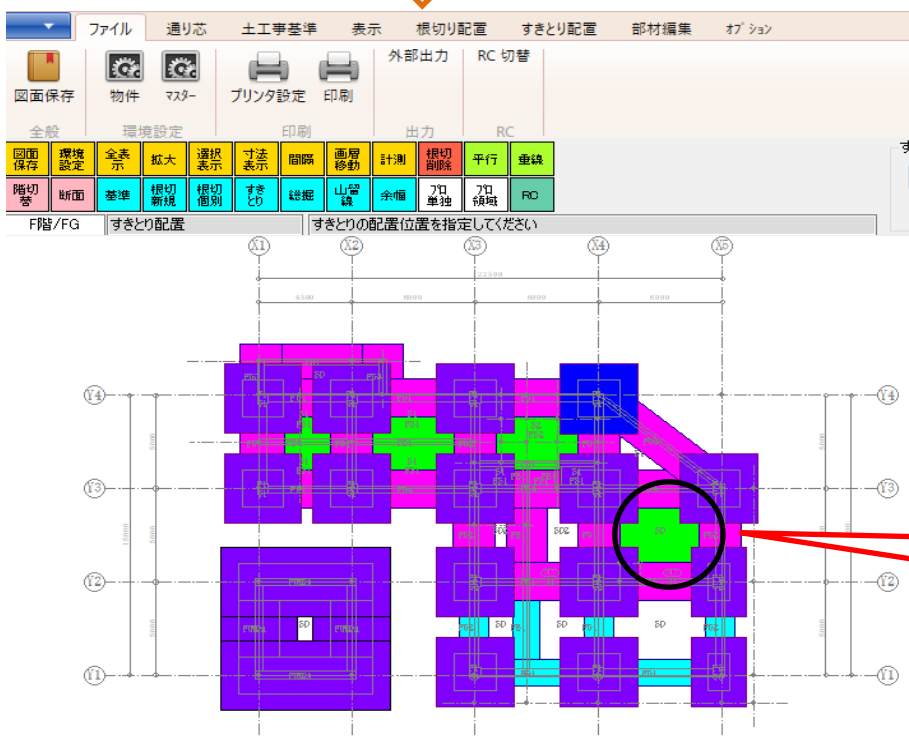


4. すきとり作成

すきとりを単独、領域、任意線で手動で配置します。
すきとりボタンを選択してすきとりをする部分をクリックします。



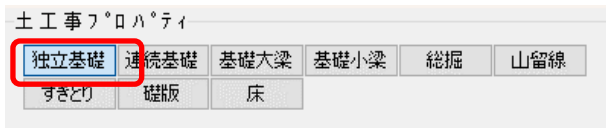
すきとりする部分を
クリックします。



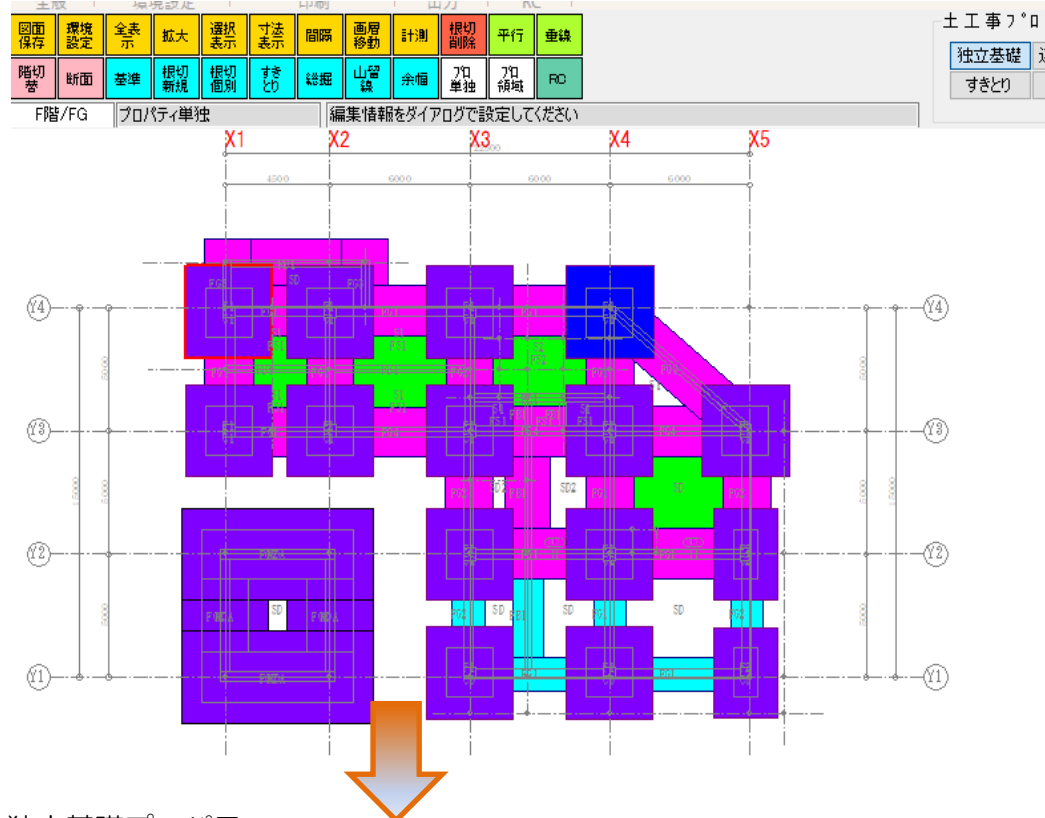
すきとりが配置されます。

5. プロパティ変更

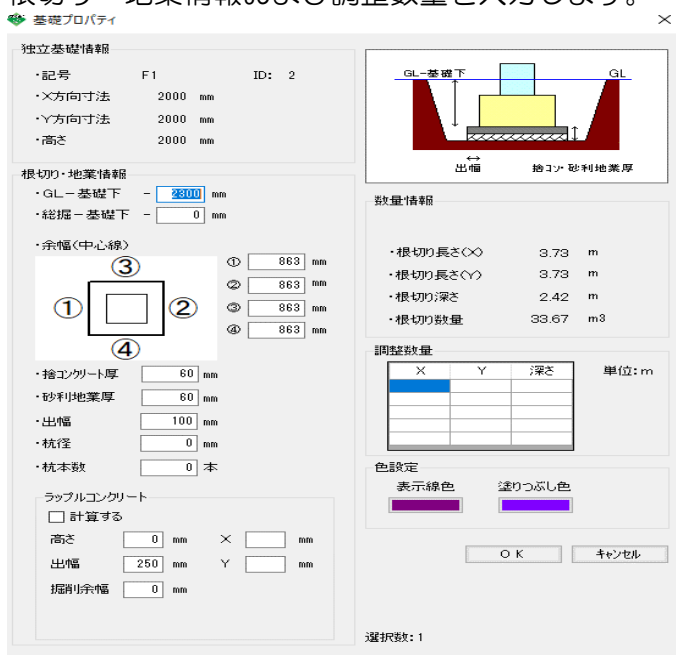
RC躯体図同様、各部位の詳細内容を設定することができます。
根切り深さ等の調整を部位記号ごとに変更できます。



下記画面では、プロ単独ー独立基礎をクリック後に任意の独立基礎を選択しています。

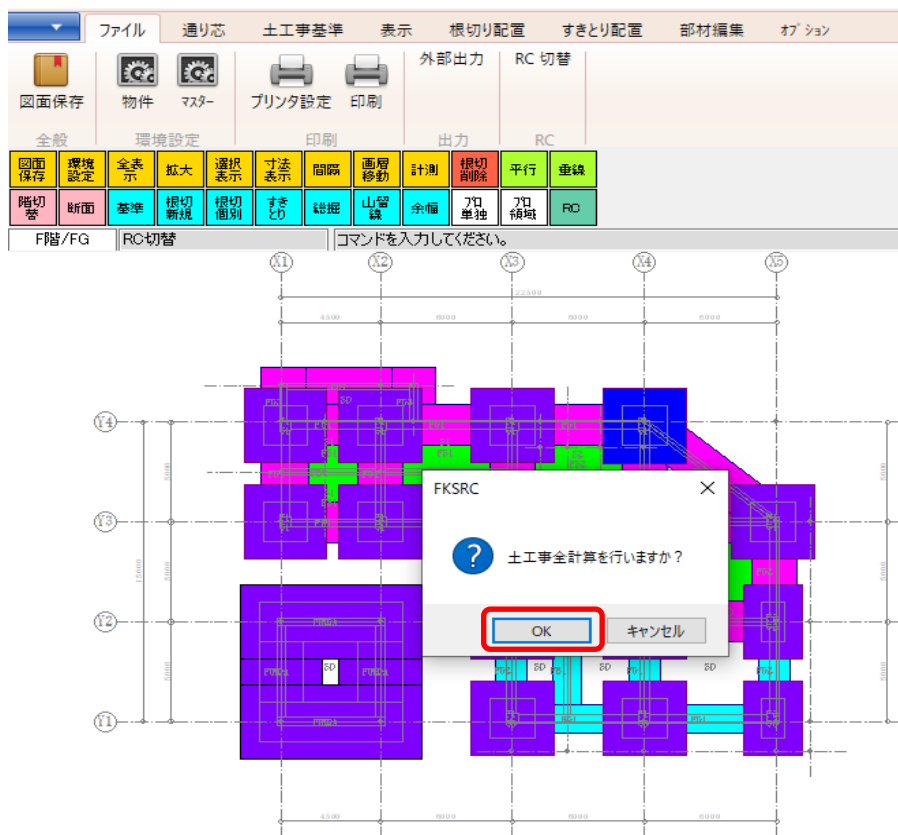
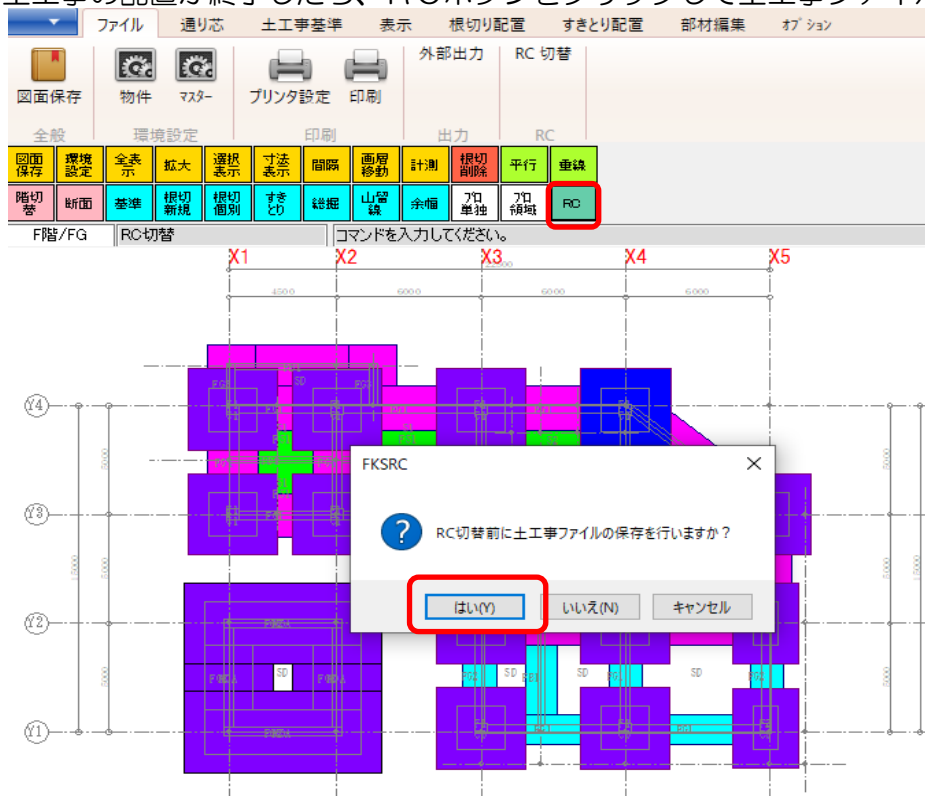


独立基礎プロパティ
根切り・地業情報および調整数量を入力します。

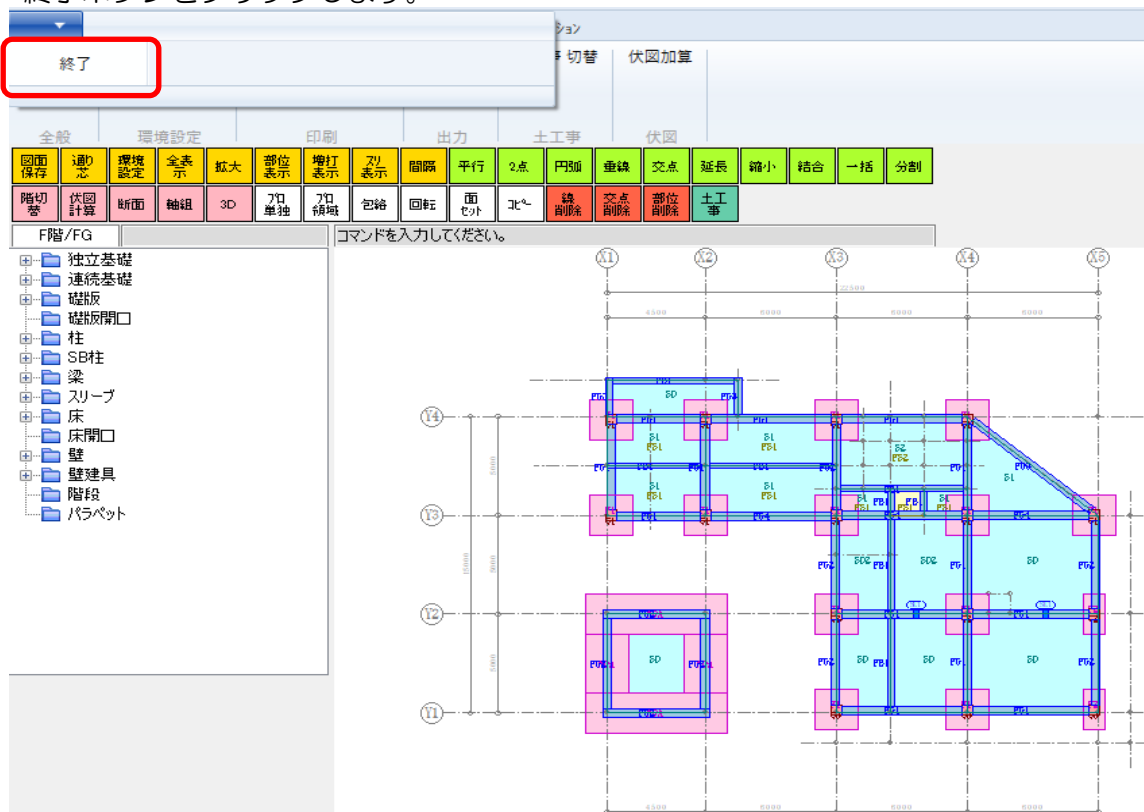


6. 土工事計算

土工事の配置が終了したら、RCボタンをクリックして土工事ファイルの保存、計算を行います。

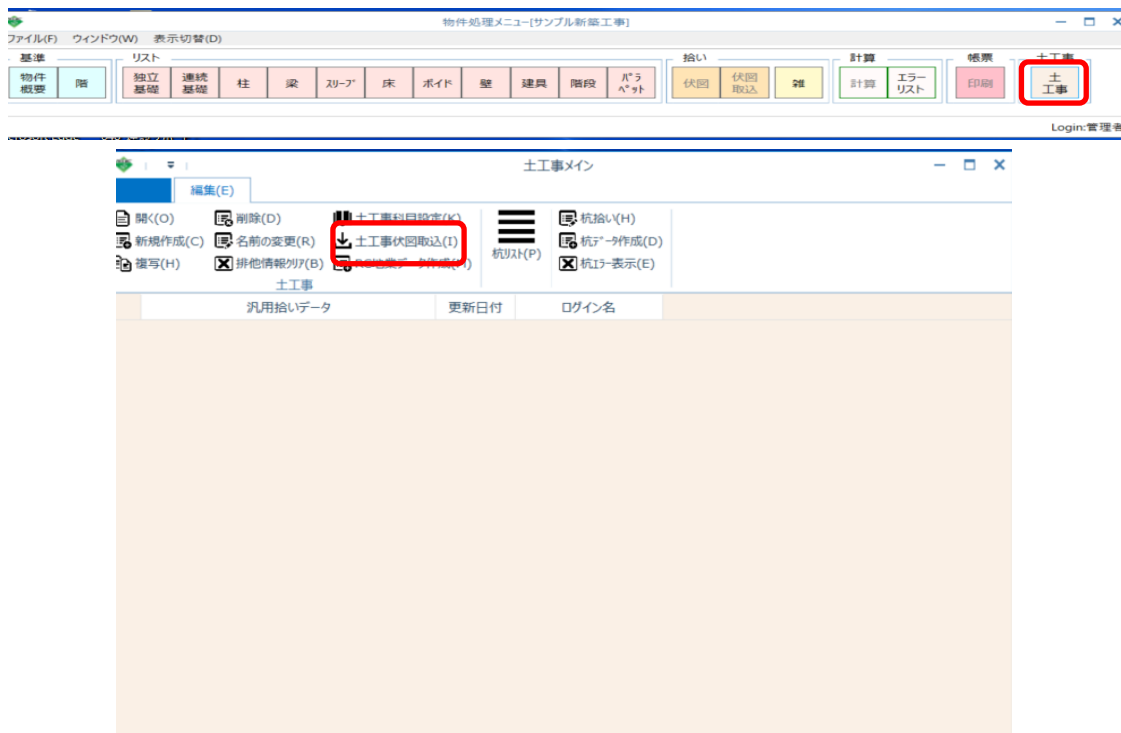


土工事伏図画面を閉じると躯体伏図画面に戻ります。
終了ボタンをクリックします。



7. 土工事伏図取込

土工事ボタンをクリックすると土工事メイン画面が表示されます。
土工事伏図取込ボタンをクリックすると土工事伏図取込画面が表示されます。



土工事伏図取込画面で取り込む伏図データ名を選択して地業土間記号選択欄で土間スラブにチェックを付加してOKボタンをクリックします。



以上